

## 情報公開文書

研究の名称	T細胞・NK細胞腫瘍におけるCD26発現の臨床的意義とCAR-T療法の標的としての有用性に関する検討
整理番号	R2019161
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 本研究の対象となるのは、富山大学附属病院血液内科を2010年1月～2019年12月までの間に受診し、T細胞・NK細胞腫瘍と診断された患者さんです。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> T細胞・NK細胞腫瘍ではCD26という分子が腫瘍細胞の表面に発現していますが、どの程度の頻度で発現しているのか、発現の有無が治療の効き目やその後の予後に関係するのか解析します。またこのCD26という分子が、CAR-T療法という新しい治療法の標的として適応なのか検討します。</p> <p><b>【研究の方法】</b> T細胞・NK細胞腫瘍の診断のため、リンパ節生検や骨髄検査、末梢血検査などにより採取された腫瘍細胞の一部を研究に使用します。本研究で検討する項目は以下の通りです。 免疫染色やフローサイトメトリー法という検査方法で、腫瘍細胞がCD26を発現しているか調べます。 患者さんの年齢、性別、疾患名、行われた治療、治療に対する反応、無増悪生存期間、全生存期間などが、腫瘍細胞におけるCD26の発現と関係あるか調べます。 骨髄の腫瘍細胞がCD26陽性の場合、これとCD26 CAR-T細胞を一緒に培養してみて、この療法が有効なのか調べます。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2020年1月22日～2024年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 今回の研究成果は学会や学術雑誌で発表される予定ですが、その内容に患者さん個人を特定できる情報は含みません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	上記～の通りです。は順天堂大学大学院医学研究科 免疫病・がん先端治療学講座で、は富山大学学術研究部医学系 免疫学講座で検討が行われます。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	順天堂大学大学院医学研究科 免疫病・がん先端治療学講座 森本幾夫 富山大学学術研究部医学系 免疫学講座 小林栄治
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉

<p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話：076-434-7301</p> <p>FAX：076-434-5027</p> <p>E-mail：tsutomus@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名：富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉</p>
---------------------------------	--